横浜天声キリスト教会　週報　第 17 巻 40 号（No.660）　2022 年 10 月 2 日

## 礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　イザヤ 60:22 ・・・・・・・・ 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 308番　実れる田の面（も）は
*交読文　・・・・・・・・・・・・・・・・ 40番
*使徒信条　・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 178番　恵みふかきみ神よ
礼拝のための祈り　・・・・・・・ 成田エクレシア：浪川執事　天声：小林伝道師
聖餐式　・・・・・・・・・・・・・・・・・ 281番　しみもとがも
メッセージ　・・・・・・・・・・・・・・ 立ち上がって主の光を輝かせよ(イザヤ 60 章)
御言葉を適用する祈り　・・ 会衆一同
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 259番　主の光の使者よ
幸せと成功の宣言文 ・・・・ 会衆一同
献金感謝の祈り　・・・・・・・・ パスター
報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・
*主の祈り　・・・・・・・・・・・・・・ 会衆一同
*祝祷　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パスター

## 天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。（ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5）
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。（ローマ 10:10）
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。（ローマ 10:10）
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。（第二テサロニケ 3:5）

## 祝福の御言葉（下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい）

起きよ、光を放て。____の光が臨み、主の栄光が____の上に昇ったから。見よ、暗きは地を覆い、闇はもろもろの民をおおう。しかし、____の上には主が朝日のごとくのぼられ、主の栄光が____の上にあらわれる。もろもろの国は、____の光に来、もろもろの王は、のぼる____の輝きに来る。____の目をあげて見まわせ、彼らはみな集まって____に来る。____の子らは遠くから来、____の娘らは、かいなにいだかれて来る。その時____は見て、喜びに輝き、____の心はどよめき、かつ喜ぶ。海の富が移って____に来、もろもろの国の宝が、____に来るからである。多くのらくだ、ミデアンおよびエパの若きらくだは____をおおい、シバの人々はみな黄金、乳香を携えてきて、主の誉を宣べ伝える。ケダルの羊の群れはみな____に集まって来、ネバヨテの雄羊は____に仕え、わが祭壇の上にのぼって受けいれられる。こうして、わたしはわが栄光の家を輝かす。（イザヤ 60:1−7）

## メッセージ概要

10 月の御言葉はイザヤ 60:20 である。イザヤ 60 章以降は、神様との正常な関係を回復した神の民に約束された祝福の預言が続く。神様との正常な関係を回復し、祝福が再び流れて来るためには、どうすればいいか？それは直前の箇所に答えがある。すなわち、自分の肉が喜ぶ事を止めて「主の喜ばれる断食」をし（58 章）、悔い改めて罪の問題を解決する事(59 章)だ。これらを経た人に、60 章の祝福が始動し始める。

その祝福の内訳は、すばらしい息子・娘たちが集ってくる約束であり、国々の富や王達が世界中から集まって主へ捧げられる優れたものが集ってくる、という、まさにこれから私達が受けるべき報いの約束である。

『*起きよ、光を放て。あなたの光が臨み、主の栄光があなたの上にのぼったから。*』(イザヤ 60:1)　この「起きよ（立ち上がれ）、光を放て」は命令形で、後の動詞は完了形である。すなわち、主の光は既に放たれ、あなたの光が既に来ているのだから、**それを実体化させるために、あなたは立ち上がれ**、という事である。私達は立ち上がって、光を放たなければならない所に、既に来ている。日本も世界も闇が覆っているからだ(2 節)。私達が立ち上がって主の栄光を私達の上に表すなら、彼らを光の内に救う事が出来るのだ！

私達は、主を抜きにして輝く事はできない。自分の栄光や世の栄光、世の手段では、もはや将来は無い。主の光が無い国民や王国は滅び、荒廃する（12 節）。事実、主の教えを全く無視している国々や日本は、衰退の一途にある。しかし、私達が主の栄光を輝かせるなら、国々や王たちは、「私達」をともしびとして照らされつつ歩む（3 節）。私達が起きて、主の光を放つと、私達が生んでいない、選りすぐりの息子・娘たちが、王たちの脇に抱かれて運ばれて来る(4 節)。そして海の富や国々の財宝（5 節）、また金や乳香を積んだ大群がおしよせ、選りすぐりの羊たちも集められ、それらは主へと捧げられて主の宮を輝かせ、主の奇しい御業を宣べ伝えるようになる（6-7 節）。それらは、飛行機や船で運ばれて来ると預言されている（8-9 節）。

その門は、いつも開かれ、昼も夜も閉じられない。国々の財宝が運ばれ、王たちが導かれて来るためである（11 節）。かつて、私達を苦しめた者達、侮った者達は、足もとにひれ伏すようになり、かつては捨てられ、憎まれ、顧みる人がなかった、としても、主が永遠の誇り、喜びの町へと変えて下さる（14-15 節）。まさに、ヨセフの法則である。さらに、国々の乳を吸い、王達の乳房を吸うようになる（16 節）。つまり、世のあらゆる高い地位にある人達から、敬われ、彼らから良いもので養われるようになるのだ。

そして平和が私達の管理者となり、義が私達の監督者となる。その時、イエス様こそ救い主であり、全能の贖い主である事を知るようになる。彼こそ私達の城壁となり、門となり、その名は賛美となる（18 節）。

もはや、太陽や月が私達を照らす輝きとなるのではなく、主こそ私達の永遠の光となり、光栄となる。まことの太陽であるキリストは決して沈まず、キリストに照らされて輝く月である教会は、もはや陰ることがない。主が私達の永遠の光となり、私達の嘆き悲しむ日が終わる。。。それは、私達が生きているこの地上で起こり(19-20 節)、そして永遠において成就する。（黙示録 21：1-4, 22：5）

『*あなたの民はことごとく正しい者となって、とこしえに地を所有する。彼らはわたしの植えた若枝、わが手のわざ、わが栄光をあらわすものとなる。その最も小さい者は氏族となり、その最も弱い者は強い国となる。*』(21-22 節)　このような栄光の次世代を生み出すためのシステムが、今、整えられて来ている。
今まで、まさに求め続け、探し続け、叩き続けてきたからだ。失望せずに待ち望む神の民に、主は言われる。**時が来れば、わたし、主が、すみやかにそれをする！**(22 節 b)主は、信じ続ける者に、必ず来て下さる。

これらを受ける条件が、主の喜ばれる断食をする事と、悔い改める事だった。悪い言葉や人をあげつらう口を覆い、また悪い習慣や悪い人との結束を、断ち切る事(イザヤ 58 章)。また、自分の罪を認め、告白し、主の前にきれいになる事(イザヤ 59 章)。その時、暁のように光がさしいで、傷はすみやかに癒される。

その時、私達は主にあって義とされ、イザヤ 60 章の幸いな約束が発動する条件が整えられる。

この祝福の約束を信仰によって受け取り、忍耐して守り行い続け、そして時が来た時、立ち上がって、主の光を放ち、祝福を実体化させていく私達でありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

## 集会案内

**主日礼拝（日曜）**

| | |
|---|---|
| 日本語礼拝 | 礼拝 11:30 |
| English Service | 14:30 |

**日々の集会**

| | |
|---|---|
| 月～金　早天祈祷会 | 5:00～ |
| 火・木・金　賛美と祈りの集会 | 13:00～ |
| 火～木　夜の祈祷会 | 19:00～ |

**水曜礼拝**

| | |
|---|---|
| 1 部 | 13:00～ |
| 2 部 | 19:00～ |

**金曜祈祷会**　19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております　→　youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

## アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 17 巻 40 号　　2022 年 10 月 2 日

# 横浜天声キリスト教会

## 礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
**TEL/FAX**：　045-326-6211
**Homepage**：　http://voice.of.christ.yokohama/
**email**：　ephes_03-tensei@yahoo.co.jp